



総合司会

フレイル漢方薬理研究会 代表世話人
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科
漢方薬理学講座 特任教授

乾 明夫 先生



司会



東京慈恵会医科大学
疼痛制御研究講座 特任教授/
鹿児島大学 客員教授

上園 保仁 先生



熊本赤十字病院 総合内科 部長/
熊本大学医学部 臨床教授/
宮崎大学医学部 臨床教授

加島 雅之 先生



(一財) 京都工場保健会 代表理事/
立命館大学 創薬科学研究センター
チェアプロフェッサー

丸中 良典 先生

乾 『がん治療と人参養栄湯』をテーマに、各領域のエキスパートの先生方から貴重なご講演をいただき、非常に勉強になりました。各座長の先生からパネリストの先生にご質問をお願いします。

基礎研究におけるネガティブコントロールの考え方

上園 代表的な補剤(人参養栄湯・十全大補湯・補中益気湯)のいずれにも配合されていない生薬で構成される漢方薬などをネガティブコントロールとして補剤と比較検討することによって、補剤の重要性がより明らかになるのではないかと思います。先生のお考えをお聞かせください。

磯濱 実際にネガティブコントロールを作ることは難しいので、われわれが実験科学的にどの生薬が重要かを調べる時に、“一味抜き”や“二味抜き”の処方を用いて検討することがあります。現在は何の生薬が重要なのかを調べる際に、まずは人参養栄湯と十全大補湯に共通する生薬、いずれか一方に配合されている生薬など、まずはグループで検討し、その結果から特に重要と思われる生薬を抜くとどうなるか、そして作用が消失するようなら、それがネガティブコントロールになるかもしれないと思います。

人参養栄湯の精神的フレイル・低活動性せん妄への効果

乾 福原先生のご講演について、加島先生からご質問をお願いいたします。

加島 化学療法を施行中の患者さんで、PSが悪化するような方に精神的フレイルの特徴である低活動性せん妄の

ような状況になる方が多く、そのコントロールが難しいと感じています。福原先生は、人参養栄湯の精神的フレイルや低活動性せん妄に対する効果を示唆するようなご経験をお持ちですか。

福原 化学療法を施行中のがん患者さんは精神的にかなり不安定な状態にあります。人参養栄湯に含まれる遠志が精神的静養を与えることから、化学療法を継続できることを期待しています。ただ、実臨床において効果を実感した経験は残念ながら持ち合わせていません。

加島 入院中に人参養栄湯を使用している患者さんで覚醒度が改善し、低活動性せん妄のスコアが改善する例を経験するようなこともあります。今後の検討が必要だと思います。

人参養栄湯を継続服用していただくためのポイント

フロア 人参養栄湯の独特な味や、効果発現までに時間がかかるため服用を継続できないという方がいらっしゃいます。患者さんに人参養栄湯の服用を継続していただくコツを教えてください。

福原 実際に、患者さんの約1/3に服用できない方や継続できない方がいらっしゃいます。残りの2/3の患者さんには、「漢方薬はしばらく飲むと徐々に効いてきます」というように説明しながら服用していただきます。さらに人参養栄湯の効果発現までに1~2ヵ月を要することが臨床研究をとおしてわかってきました。「2ヵ月間は頑張って服用を続けてください」と提案されることも良いと思います。

乾 患者さんに服用を納得していただけるような説明が必要ですし、服用を継続していただくための様々な工夫も

パネリスト

東京理科大学 薬学部
応用薬理学研究室 教授

磯濱 洋一郎 先生



市立藤井寺市民病院
診療局長・外科診療部長・
消化器外科長・麻酔科長

福原 研一朗 先生



関西医科大学
内科学第一講座
主任教授

伊藤 量基 先生



神戸大学医学部附属
病院長／
神戸大学大学院医学研究科
呼吸器外科学分野 教授

眞庭 謙昌 先生



確かに必要になると思います。

加島 開始時から満量を投与すると、服用が難しいという方がいらっしゃると思います。たとえば、眠前に1回服用していただきながら徐々に漢方薬に慣れていただくことで服用ができるようになる方も多くいらっしゃると思います。また、飲みにくいとおっしゃる方には食後の服用をお勧めすることもよいと思います。

悪循環を解除し好循環に導く人參養榮湯

乾 伊藤先生のご講演に関して、丸中先生からご質問をお願いいたします。

丸中 レナリドミドによる多発性骨髄腫の治療において人參養榮湯が非常に有効であることをお示しいただきました。人參養榮湯の12種類の構成生薬が複合的にレナリドミドの副作用を抑えることにつながっているように思います。この点について先生のお考えをお聞かせください。

伊藤 人參養榮湯は多発性骨髄腫も含めて、メインの治療薬を継続させる能力があると思います。本会では、人參養榮湯が免疫を賦活化する能力を有することを指摘されていましたが、まさに人參養榮湯の各構成生薬が疾患の治療において好循環につながっている印象があります。一つのポイントを改善すると他のポイントにも好影響を与え、さらにサポート的に作用するというように、人參養榮湯は悪循環を解除し好循環に導いている印象があります。

人參養榮湯は肺がん患者のQOL向上に寄与

乾 呼吸器外科で眞庭先生のご講演について、丸中先生からご質問をお願いします。

丸中 喀痰などの呼吸器症状に対する人參養榮湯の効果について、症例のご経験をとってお教えください。

眞庭 肺がんの周術期において、術後の喀痰排泄は肺炎も含めて多くの合併症の防止において重要な要素となります。創部の痛みを伴うため、しっかりとした喀痰は患者さんに負担になります。人參養榮湯の服用によって明らかに活動性が高まることで喀痰の自然排泄が促進される方を多く経験しており、そのような観点からも人參養榮湯のメリットは大きいという印象があります。

上園 先生が実施されている「原発性肺がんの周術期における人參養榮湯の臨床研究」において、先生が選定された主要評価項目に帰着した理由をお教えてください。

眞庭 呼吸器外科領域の研究の多くは術後合併症の多寡、患者さんの予後に着目しますが、今回の試験では人參養榮湯が患者さんのQOL向上に寄与する薬剤として期待されていることから、特に患者さんのQOL、さらにはWell-beingに着目しました。

フロア 特に高齢患者さんにおいて、人參養榮湯が術後せん妄に有効という印象をお持ちですか。

眞庭 ご指摘のように肺がん術後でしかも早期のせん妄は高率に発現しますし、術後のトラブルにもつながることも多くあります。実臨床において、人參養榮湯を術前の早期から服用している患者さんにおいて、せん妄を抑える効果を有するという印象があります。

乾 せん妄は大変重要な問題だと思います。いろいろな原因でせん妄が起りますが、支持療法としての人參養榮湯の使用は確かに、そのような観点からも意味があると思います。

フロア 臨床試験の実施において、食欲がない方や口内炎ができるような患者さんは、漢方薬を冷たい水で服用されていることが少なくありません。それが、人參養榮湯に限らず漢方薬の正しい評価につながらないことも懸念されますので、日頃の生活習慣への介入も必要です。

乾 重要なご助言をいただきました。以上を持ちまして総合討論を終了いたします。ありがとうございました。